



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1140

19.01.2025 (136)

悪の天才の教育

ゲルハルト・ラウク著

パート6

第三章

秘密活動

ゲルハルト・ラウクのような男が50人いれば、権力を掌握できるだろう！

「同志X

戦後ヨーロッパ

第二次世界大戦末期、ヨーロッパは基本的にアメリカが支配する西側とロシアが支配する東側に分かれていた。

ヨーロッパ人はこの「占領」を快く思っていなかった。

彼らの多くは、アメリカは単に2つの悪のうち小さい方だと考えていた。多くのアメリカ人とは異なり、彼らは常にアメリカとソ連を、自由対専制政治の問題で死闘を繰り広げる「善玉」と「悪玉」と見なしていたわけではなかった。

それどころか、2つの帝国が縄張り争いをしていると見られていた。この対立は確かに全面戦争に発展する可能性があった。しかし、両帝国は縁の下の力持ち的な小競り合いを好んでいたようだ。

西側の“黄金の檻”は、東側の過酷な“収容所”よりも明らかに快適だった。それにもかかわらず、長期的には西洋の退廃が東洋の抑圧以上に有害であることを証明しかねないという懸念を表明する人々もいた。

西側諸国が1956年のハンガリー革命を支援できなかったとき、最も強固な反共主義者たちでさえ、特にアメリカ政府にはかなり幻滅した。

西側諸国では、被占領国の地下抵抗運動を支援する目的で、民間団体が結成された。彼らは政府の援助や支援を受けなかった。

私はこの仕事で大きな役割を果たした！

一部の西側諸国政府は、こうした組織を容認していた。また、積極的に闘う政府もあった！また、両極端の中間的な立場をとる国もあった。それらを「安全な国」、「敵対的な国」、「中立的な国」と呼ぶことにする。

当然ながら、これらの民間団体は、迫害とは対照的に、寛容を奨励するために身を屈めた！これは、いつでもどこでも可能な限り、厳格な合法性を意味した。異論が非合法とされた場所でも、抵抗は厳しく非暴力的でなければならなかった！

これらの民間組織による支援は、さまざまな形で行われた。私は反体制派の文献を専門に扱っていた。

この仕事には、少なくともアメリカの基準では言論の自由を尊重しない国や法制度が関わっている。例えば、地下鉄で隣に立っていたり、レストランで隣に座っていたりする見知らぬ人の耳に、友人への何気ない一言が入っただけで、刑務所に入れられるような国だ。反体制派は、まったく暴力的でない思想犯として、時には数カ月、数年もの間、刑務所で過ごすこともあった。

初めての国外追放

今回の旅は、前回の旅よりもさらに順調に進んでいた。すべてが順調に進んでいた。全国を広く旅し、多くの素晴らしい人脈を築いた。

短いスピーチをした後、私は飛行機で遠く離れた別の県に行かなければならなかった。翌日にはメインスピーカーを務める予定だったので、電車

に乗る時間はなかった。

友人と私は同じ美女に目をつけた。彼は私に口説くよう勧めた。私は翌日には帰ることを彼に伝えた。だから、彼はそうすべきだ。それから何年も経って、私たちは別の国で偶然出会った。彼は彼女と結婚していた！幸運な犬だ！

主催者はとても喜び、数週間後、別の都市で同じスピーチをするよう私を招いた。そこでの聴衆はさらに好意的だった。会議が正式に終わった後、ヴォルフ＝ディーター・エックハートと彼の友人たちは、私と一緒に写真を撮りたいとせがんだ。

私は同じ日にその地方を離れた。

翌日、私は他県の友人を訪ねていた。電話が鳴った。短い会話の後、彼は私に向かって言った：息子からだ。昨日ハンブルグで演説したアメリカ人が強制送還されたと新聞に載っている。あなたと何か関係があるのですか？

二人とも混乱した。明らかに、私は強制送還されていなかった。私はそこに座っていた！すべてが奇妙に思えた。

私は列車でハンブルグに戻ることにした。列車に乗る前に地元の新聞を買った。その新聞に目を通すと、すぐに私の写真が掲載された記事を見つけた。キャプションにはこうあった：ゲルハルト・ラウク：忽然と姿を消した。記事自体には、私が国外追放されたと書かれていた。

問題の街に戻り、私は友人に尋ねた：この新聞に何か載ってた？

ハンスは笑って言った：あなたは『ハンブルガー・モーゲンポスト』紙の見出しを飾った！

彼は私にその記事を見せてくれた。案の定、私はそこにいた！しかし、私はまだ強制送還されたという主張について混乱していた。私は弁護士に会った。（彼は若い頃、いわゆるニュルンベルク裁判の弁護人を務めていた。ちなみに彼には、一族の黒羊としてアメリカに逃亡した近親者もいた）

強制送還」とは「国外退去命令」のことだと彼は言った。物理的な強制送還そのものではない。私は逮捕状が出ていると考えなければならなかった。私は身柄を拘束され、飛行機で国外に送られることになる。

逮捕を逃れるのはそれほど難しいことではなかっただろう。しかし、いずれにせよアメリカに戻る時が来た。

私は“派手に行こう”と決めた。

私が最初にしたことは、残された時間を有効に使うことだった。輸入を成功させるためだ。

その後、私は小さな町でNPD（ドイツ民主党員）の集まりに参加した。見知らぬ人が近づいてきて、ゲルハルト・ラウクさんですかと尋ねてきた。私は何気なく答えた：もう強制送還されたって聞いたよ。私の向かいに座っていた友人は声を上げて笑いかけた。そして彼はタバコを吸うために外に出た。彼がドアの前でタバコを吸っていると、別の友人（息子にアドルフと名付けた）がやってきた。

二人の会話はこうだった：

警察が私の家に立ち寄った。ゲルハルトを探していたんだ。私はどこにいるか知らないと言いました。あなたはご存知ですか？

そう、彼は中にいる！

彼は冗談だと思っていた。中に入って私を見るまではね
もうひとつは、『なぜ私は国外退去命令を認めないのか』と題した別のスピーチを行うと公言したことだ！時間と場所を明記してね。そしてスピーチの録音をし、予想外のことをした：スピーチをするために実際に現れたのだ！

誰も私にそんなことを期待していなかった。警察でさえも。警察には2人しかいなかった。私の側近は彼らを圧倒していた。しかも、私の一番小さな“ボディーガード”は、彼らの誰よりも大きかった。私の最大のボディーガードは彼らを凌駕していた。彼が何を考えているかを裏切るには、彼の笑みだけで十分だった：殺していいですか、ボス？

一人の警官が緊張した面持ちで、警察署まで同行するよう私に求めた。私は親切にもそれに応じた。

到着まで、私は説明した：航空券はすでに持っています。しかし、空路も陸路も、可能な限りの乗り継ぎをチェックした。私がフライトに間に合う唯一の方法は、この街を45分後に出発する列車に乗ることです。

ルクセンブルクの空港からのフライトだった。私は旅行代理店であらゆる選択肢を検討した。

彼は上司に尋ねに行った。5分後、彼は戻ってきた。パトカーが私を駅まで連れて行った。私は列車に乗り込んだ。一人の警官が私と一緒に列車に乗った。私は彼が空港までずっと同行してくれると思っていた。しか

し、彼は市内の終点で列車を降りた。私は一人で自由だった！

この国に残ることも考えたが、やめた。

数ヵ月後、アメリカに戻った私は、その国から面白い新聞記事を受け取った。あるジャーナリストが、どういうわけか誰も私を空港までエスコートしていないことを突き止めたのだ。誰も私が実際に出国したことを確認していないのだ。彼は、私がまだそこで地下活動をしているかもしれないと推測した！私は大笑いした。結局、彼はほとんど正しかったのだ。

この出版物は、東ドイツ共産党社会主義統一党の西ベルリン支部の機関紙であった。

アンダーグラウンドでの私の人生

当然ながら、反体制派の大半は自国で暮らし、働いている。彼らの長所は、自国を知り尽くしていることだ。彼らの不利な点は、政治警察がしばしば彼らの正体を知っているか、少なくとも推測していることだ。

私は欧米を拠点としているため、異なるカテゴリーに属する。私の訪問は比較的短く、一度に数日、数週間、数ヵ月に及ぶ。投獄されている場合は別だが、その場合は数年になる。

初期の頃、私が地下のセルに初めて遭遇したときは、だいたいこんな感じだった。

夜遅く、あるいは真夜中にドアをノックする音がする。寝ぼけ眼の男がドアを開けて誰かを確認する。私はそこに立っている。驚いた顔：あなたが来るとは知らなかった！いらっしゃい！お入りください！

お腹空いた？キッチンにいらっしゃい。何か食べるものを用意するわ。

時間があれば、何時間でも、一晩中でも、おしゃべりしてお互いを知る。

お互いのことをよく知らなければならない。これには、家庭環境、雇用、普段の日常生活についての知識も含まれる。

私たちは、すでに存在する抽象的な絆を超えた個人的な絆を形成しなければならない。もちろん、そうすることで、後に知らされる彼らの運命はより個人的なものになる。彼らは私が知っている人々であり、統計ではな

い。

ごく初期には、しばしば酒が必要だった。反体制派の中には、もしあなたが彼らと一緒に酔っ払って“本性”をさらけ出さなければ、あなたを信用しない者もいた。また、酒に酔ったとしても信用しない人もいる。あなたが酒を我慢できないから、あるいは明らかに規律正しい酔っ払いだからだ！なるほど！

私たちは独自の“コミュニケーションシステム”を開発しなければならない。電話盗聴や直接的な監視が事態を複雑化させるであろう将来、私たちはいつ、どのように連絡を取り合うのかを確立しなければならない。

私のくだらないジョークは、ここでよく役に立った。

各セルは、少なくともいくつかの基本的なコンセプトについて、独自のシンプルなコードを持たなければならない。それぞれのコードは違う。そして私はそのひとつひとつを記憶しなければならない！何十もの名前、住所、電話番号に加えて。疲労とストレスにもかかわらず。時には何日も寝ずに、常に動き回り、政治警察の一步先を行こうとする。

私たちは、私たち双方にとっての行動方針と次のステップを決めなければならない。

私は新しい同僚を見極めなければならない。彼の能力と限界。とりわけ、セキュリティ上のリスク。そして、私は慎重な、時には非常に微妙な、追加のセキュリティ対策を講じなければならない。

このような会合は、私たちにとって唯一無二の機会かもしれない！

次の接触は間接的なものかもしれない。おそらく、簡潔で慎重に練られたメッセージだろう。おそらく数週間後になるだろう。私は、相手がこのメッセージを理解し、適切な行動を取ることを確信しなければならない。たとえそれが些細なことであっても、実に馬鹿げたことであっても.....そう、たとえそれがボーリングの試合や誕生日パーティーを欠席することであっても。

出合い頭に家族が立ち会うことも多い。妻が恐怖の表情を浮かべることも珍しくない。夫の地下活動が家族全員に及ぼしうる結果を知っているからだ。私はその恐怖を体現している。私は単に徴兵通知を配達する郵便配達人ではない。私は徴兵委員会そのものでもある。

後になれば、もっと簡単になる。まず、誰もが私の評判を知っている。彼らに自分を証明する必要はない。第二に、私はたいてい一軍か、少なく

とも経験豊富で信頼できる二軍を相手にしている。私たちの多くはお互いを知っている。過去に一緒に仕事をしたことがある。

当然ながら、有名な活動家が何人も集まっていることは、政治警察の注意を引く。欧米の諜報員」がこの地域にいと推測すれば、この好奇心は餌付け騒ぎにエスカレートする。

時折、私の到着がパーティーを開くいいタイミングとみなされることもあった！それだけで十分だった。さらに多くの人々が私の存在を知る。そして酒を酌み交わす。

もちろん、私は常に制限速度を守るようドライバーに促していた。日常的な交通違反の取り締まりで、私の身元が特定され逮捕されるような事態は避けたかったからだ。残念ながら、こうした指示は必ずしも守られなかった。一度だけ車を止められたとき、その場で逮捕されなかったのには驚いた。しかし、私がこの地域にいたことが知られたのだと考えなければならなかった。

またあるとき、運転手が面白い場所を案内してくれとせがんだ。監視下に置かれる可能性が高いとわかっていたので、私はその申し出を断った。しかし、彼は「ノー」とは答えなかった。一時は、移動中の車から飛び降りることも考えた。しかし、それでは危険な上に目立ってしまう。幸い、すべてはうまくいった。

このことを後で知った別の同僚はこう嘆いた：もし警察があなたがこの地域にいたことを知っていたら、真っ先にその場所を探したでしょう！

いい面もある。ヴィルフリード＝アルヌルフの画集を褒めたことだ。そして彼の珍しいペットのことも。

一度、ガイドが私たちの前を走っていた。私たちは道がわからなかった。彼について行くしかなかった。もちろん、彼は制限速度をオーバーしていた。運転手も私も、これにはかなり不満だった。クリスチャン・ヴォルフはこうコメントした：時々、私はうちの従業員全員を無能の罪で射殺すべきだと思うことがある。そうすれば、私は部下全員を射殺した罪で自分自身を射殺しなければならないだろう。

これらの活動家の多くは経験豊富だった。しかし、彼らは警察の活動の激しさには慣れていて。私がこの地域にいたことを警察が知っているときは、異なるルールと手順が適用された。枕営業とナイフファイトの違いに似ている。

宿舎は凍えるほど寒い地下牢から居心地のいいアパートまでさまざま

だった。あるときは美しい女性とプラトニックな交わりを楽しんだ。翌日の夜に戻るのが楽しみだった。しかし、地元の警備主任は、同じ場所で2晩過ごすなと言いつ出した。もちろん彼は正しかった。それにもかかわらず、この時ばかりは警備がもっと緩ければよかったと思った！私は2泊目を冷水フラットで過ごした。少なくともトイレはあった。

もし兆候を隠すことができなくても、少なくとも別の場所に偽の足跡をつけて目立たなくすることはできた。これはシステムを使って行われ、成功した。ある地域で3つの警鐘が鳴れば、他の地域では10が鳴る。時間が経つにつれ、追跡者は疲弊していった。エネルギーな行動は、ただその場をやり過ごすだけに悪化した。

変装をすることもあった。帽子程度の簡単なものだ。しかし、私はいつも複数のポケットがある服を着ていた。すべてを捨てて逃げ出さなければならぬかもしれないという現実的な可能性を考慮しなければならなかった。書類やお金は肌身離さず持っておく必要があった。

夜中に起こされたことがある。警察だ！」という叫び声とドアを叩く音が聞こえた。幸い、それは私の隣の部屋だった。警察が部屋を間違えたのだと思った。彼らは1、2分で私の部屋のドアを叩くだろう。私は急いで服を着て、靴を履いて、窓からダッシュした。

でもラッキーだった！彼らは本当に隣の部屋の男を追っていたんだ！

またある時、フランクフルト駅で誰かが私の名前を叫ぶのが聞こえた。私は聞こえなかったふりをして出口に向かって歩き続けた。しかし、その男は私に追いついた。幸い、彼はシムパだった！

私は数ヶ月間、ひげを生やしていた。一般的に、オスは騙されるのだが、メスはまだ私を認識している。おそらく女性の方が警戒心が強いのだろう。そしてまた、私の紛れもないセックスアピールのせいかもしれない。

いずれにせよ、私自身の秘密活動にはメリットもデメリットもあった。

国際的な旅行や興味深い人々との交流といった利点もあった。例えば、私は何人かのとても美しい若い女性に出会った！ポーランドのプリンセス、「バルト男爵夫人」、「マフィアのプリンセス」だ。

デメリットには強制送還も含まれる。私の個人的な記録は1カ月に2回で、これはアメリカ内務省の責任者の直接命令によるものだった！

私の課外活動の特典のひとつは、国営の宿に無料で泊まれることだ。

このような一流で堅固な造りの施設は人気があるので、高い壁、有刺鉄線、武装したガードマンが必要で、押し寄せる大勢が中に入ろうとするのを防いでいる！個室でさえ、通常は水回りが完備された個室で、窓には荒くれ者除けの鉄格子がついている。

ルームサービスは、プロが調理した料理を部屋まで届けてくれる。チップも必要ない！ジム、理髪店、医療ステーション、ランドリー、図書室、売店もあり、長期滞在でも施設を離れる必要がない。

他のゲストたちも、魅力的で多様な会話の相手を揃えてくれる。興味深い話や有益な情報が満載だ。

嫉妬している？そんなことはありません！あなたも無料宿泊の資格があるかもしれません。最も効果的なスローガンを研究し、人通りの多い広場で叫んでください。

よく言われるジョークがある。緊急時には警察を叫んではいけない。代わりにレジスタンスのスローガンを叫べ。警察はもっと早くやってくる！


NS KAMPFRUF
KAMPFSCHRIFT DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFBAUORGANISATION
Nummer 104 Eingeleitet 1975 26. April 2017 07:04

Der Kampf geht weiter !

Siehung Hitler nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung endlich abgeklungen in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!
Aber nicht von heute, sondern von gestern, von vorgestern und von morgen her nicht umsonst, das kann der gesunde Mann unserer hoch gebildeten Führer Adolf Hitler zu entschließen.

Alle Nationalsozialisten und sonstige aktiver, voller und ranghoher aktiver Führer an der Spitze des Kampfes um die Erhaltung unserer weißen Völker.
Die Bewegung ist zwar wieder geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkermordes ist heute noch größer als in der Vergangenheit.

Ein verurteiltes Gegenstand ist also dabei, das Volkstum – gegen alle weißen Völker (!) – zu hegen, sein Volk und seine Erbschaft, Überlieferung und Erinnerung.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Straßenkampf, ob im Propagandakampf, bewacht oder auf einem Schlachtfeld anderer Art. Jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT !


N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)
NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したもので、
です。

このような活動が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続いています、主にAdolf Hitler and the Army of Mankind (www.mourningtheancient.com/truth.html)に集中して取り組んでいます。現在21ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の勃発は、まさに情報の増大です。1つのことについて情報を集めても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、理も




the NEW ORDER
Number 176 (2022) Founded 1975 April 26, 2022 07:04

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defamation have not sufficed to destroy the word of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware counterforces and racial kinmen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture distortion, and re-education.

Whether "legal" or "illegal", whether in election battle or street battle, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind every National Socialist must do his duty!

Hitl Hitler!
Gottfried Lueck


TROTZ VERBOT NICHT TOT !

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト

SS Defender against Bolshevism
by Reichsführer SS Heinrich Himmler



Translated from the SS Original

The Poisonous Mushroom
Julius Streicher, Reich Minister of Propaganda



Translated from the Third Reich Original
Der Giftpilz

Hitler in Italy
Rudolf Heßmann



English / German Deutsch / English

SS Viewpoint - Vol. 9
Wife and Family



The Sins of High Finance
Theodor Fritsch



Luftwaffe War Art
Die Luftwaffe im Bild



English - German / Deutsch - English

BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org

Contact us to find out how YOU can help!